

科目名	社会政策Ⅰ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部		□必修 ■選択
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Social PolicyⅠ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	きむら きよし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	木村 澄	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	社会政策の本質と発展を概観しながら、社会保障制度の具体的適用を学びます。				
到達目標	社会政策の生成と理論を理解したうえで、社会保障法や労働問題に関するさまざまな制度を概説できるようになること。そして、社会政策にまつわる諸問題を読み解き、職業生活と人生において活かせるようにすることを目標とします。				
授業概要	病気、けが、障がい、妊娠、出産、失業、死亡、超高齢社会における年金や介護、さらには仕事にまつわる諸問題は、すべての人々にとって重大な日常生活上の事がらです。社会政策は、これらの諸問題に対する国家の行う対応策であって、社会の変化に対応しながら生成・発展をとげてきました。 本講義では、社会政策の本質論と社会保障法の発展を概観しながら、日本における社会保障制度の具体的な適用を見ていくこととします。				
授業計画					
第1回	社会保障の生成： 資本主義社会の矛盾の修正： 荻原浩『明日の記憶』を観る				
第2回	社会保障の機能と方法： 「公的扶助」と「社会保険」				
第3回	イギリスの社会保障の歴史的発展(1)： 「救貧法」の発展				
第4回	イギリスの社会保障の歴史的発展(2)： C.ディケンズ『オリヴァー・ツイスト』(ポランスキー版)を観る				
第5回	イギリスの社会保障の歴史的発展(3)： 個人的貧困観から社会的貧困観へ				
第6回	イギリスの社会保障の歴史的発展(4)： 「ベヴァリッジ報告」と社会保障法				
第7回	日本の社会保障の歴史的発展(1)： 明治期から大正期までの救貧政策				
第8回	日本の社会保障の歴史的発展(2)： 昭和初期から戦後改革期まで				
第9回	生活保護法(1)： 「朝日訴訟」を考える				
第10回	生活保護法(2)： 生活保護の基本原則： 柏木ハルコ『健康で文化的な最低限度の生活』を観る				
第11回	生活保護法(3)： 生活保護の種類と諸問題				
第12回	医療保険制度(1)： 健康保険総論				
第13回	医療保険制度(2)： 保険給付の種類①： マイケル・ムーア『SiCKO』を観る				
第14回	医療保険制度(3)： 保険給付の種類②				
第15回	医療保険制度(4)： 保険給付の種類③				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前に前の回で配付したプリントとノートに必ず目を通しておいてください。 2. 確認の小テスト(クイズ)を2回行います。復習をしっかり行ってください。 3. 新聞やテレビのニュースで社会保障や労働問題に関する出来事に関心を持ってください。				
履修条件 受講のルール	前期の「労働法Ⅰ」を履修しながら、この「社会政策Ⅰ」を受講することを強く推奨します。 後期には、「社会政策Ⅱ」はもちろん、「労働法Ⅱ」もあわせて履修することを強く推奨します。 「社会政策」と「労働法」は、「社会法」と呼ばれる同じグループの学問です。				
テキスト	講義の際にレジュメや関係資料を配付します。				
参考文献・資料	荻原浩『明日の記憶』、チャールズ・ディケンズ『オリバー・ツイスト』、マイケル・ムーア『Sicko』、 柏木ハルコ『健康で文化的な最低限度の生活』、フリードリヒ・エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』、細井和喜蔵『女工哀史』他				

成績評価の方法	【定期試験（60％）、小テスト（25％）、主体的学びの姿勢（15％）】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テスト（クイズ）を2回実施し、直後にフィードバック（答え合わせ）を行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	毎週火曜日 14：40～16：10・木曜日 14：40～16：10 ※これ以外の時間帯でも可能な限り対応します。
成績評価基準	秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（0～59点）
学生へのメッセージ	皆さんの将来の職業生活において必ず役に立つ科目です。 「わかる・できるようになる」に向けて、「主体的な学び」の姿勢を大切にしましょう。